

様式第2号(第3条関係)

令和7年7月1日

竹富町議会議員

東 金 嶺 肇 殿

竹 富 町 長
(公 印 省 略)

政務活動費交付決定通知書

竹富町議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり政務活動費の交付を決定したので通知します。

記

1 交付決定額 金 180,000 円

竹富町議会議長 殿

竹富町議会議員 東金嶺 肇

政務活動費収支報告書

竹富町議会政務活動費の交付に関する条例第 7 条第 1 項の規定により、政務活動費に係る収支について、下記のとおり報告します。

記

1 政務活動費の額 金 63,590 円

2 政務活動の期間 第 3 四半期(10 月から 12 月)

3 政務活動費の対象となる経費の内訳

項 目	金 額 (単位:円)	備 考
調査研究費	63,590	● 久米島町における空き家、移住定住対策、納骨堂調査 ● 海洋深層水を活用した複合産業の取組 ● 国立劇場おきなわ「ムシャーマ」公演視察
研修費	0	
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
合 計	63,590	受領済額 0円 累計 63,590 円

政務活動費報告（東金嶺 肇）

月 日	項 目	分 類	歲 出	合 計
11/3~6	波照間~石垣間 往復船賃	調查研究費	2,860	2,860
11/4~5	石垣~那覇 航空運賃	//	21,880	24,740
11/4	久米島 宿泊費	//	7,250	31,990
11/4~5	那覇~久米島間 航空運賃	//	10,880	42,870
11/23~24	石垣~那覇 航空運賃	//	20,720	63,590
				63,590

久米島視察

領 収 証

令和 7 年 11 月 6 日

東 金 嶺 肇 様

金額(税込10%) ¥ 2,860

(内消費税額 260 円)

取扱者

但し、石垣～竹富・小浜・黒島・西表
波照間・鳩間・新城 航路旅客運賃として

上記金額領収しました。

国土交通省認可一般旅客定期航路免許番号第3
沖縄県知事登録国内旅行業第2種12



安栄観光

2 沖縄県石垣市美崎町1番地
(石垣港離島ターミナル内)
社 TEL 0980-83-0055
FAX 0980-83-0044
録番号：T4-3600-0202-0964

領 収 証

東 金 嶺 肇 様

No. _____

★ ¥7250-

内 訳

現金 7250-

小切手 /

手形 /

但し宿泊代として

令和7年11月4日 上記正に領収いたしました

収入印紙

T5360001017250

消費税額等(10%) 660

コクヨ ウケ-98

ホテル・...

〒901-3122 沖縄県石垣市久...

TEL 098-9...



JAPAN AIRLINES

久島視察

Web 54a9545ee9ad7e71a133bcd33538506c
2025年09月30日 10:01発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

東金嶺 肇 様

金額 21,880円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	
航空券/料金券発行日	2025年9月30日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヒガシカナミネハジメ 様

2025年11月4日 (火) 運賃：離島割引

○ 11:35 石垣 クラス：普通席
便名：JTA 608

○ 12:35 沖縄 (那覇)

2025年11月5日 (水) 運賃：離島割引

○ 17:30 沖縄 (那覇) クラス：普通席
便名：JTA 621

○ 18:30 石垣

21,880円

合計金額

21,880円



JAPAN AIRLINES

Web 16041fa48d2fe954c0e062eca1844caf
2025年09月30日 10:43発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

様 東金嶺 肇

金額 10,880円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	
航空券/料金券発行日	2025年9月30日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヒガシカナミネハジメ 様

2025年11月4日 (火)

運賃：離島割引

13:45 沖縄(那覇)

クラス：普通席

機名：JTA211

14:20 久米島

10,880円

2025年11月5日 (水)

運賃：離島割引

15:00 久米島

クラス：普通席

機名：JTA212

15:40 沖縄(那覇)

* ご搭乗済みの区間は表示されていない場合がございます。

合計金額

10,880円

国立劇場おきなわ公演



JAPAN AIRLINES

Web 0cf90e3aecdc470d486f08e274a68194
2025年11月01日 13:34発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

東金嶺 肇 様

金額 10,360円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	■■■■■■■■■■
航空券/料金券発行日	2025年11月1日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヒガシカナミネハジメ 様

2025年11月23日 (日)

運賃：セイバー

08:55 石垣	クラス：普通席 機体：JTA 600	10,360円
09:55 沖縄(那覇)		

合計金額

10,360円

御観覧券

1階 6列 14番

国立劇場おきなわ

波照間島の芸能

2025年11月23日 (日)

14:00開演 13:15開場予定

大劇場

一般 (団体割) 2,775円

大学生等 2,000円

(3歳以上)高校生以下 1,000円

96051

National Theatre Okinawa

※裏面の注意事項を必ずお読みください。

国立劇場おきなわ公演



JAPAN AIRLINES

Web afc76fee09b0cf600f987830087b2915
2025年11月01日 15:59発行

領収書

下記の金額正に領収いたしました。

東金嶺 肇 様

金額 10,360円 (税込み)

但し	運賃・料金として
航空券/料金券番号	██████████
航空券/料金券発行日	2025年11月1日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社

登録番号 T7010701007666

ご利用旅程・運賃・料金明細

ヒガシカナミネハジメ 様

2025年11月24日 (月)

運賃：セイバー

12:35 沖縄(那覇)

クラス：普通席
便名：JTA 609

10,360 円

13:40 石垣

合計金額

10,360円

令和7年度 政務活動報告書

竹富町議会議員 東金嶺 肇

提出日:令和7年12月26日

対象期間:令和7年10月~12月

【視察日程及び内容】

1. 日程 令和7年11月4日 ~ 11月5日

- ・ 視察場所 沖縄県 久米島町
- ・ 久米島町における空き家、移住定住対策、納骨堂整備の関連等の取組みを調査
- ・ 海洋深層水を活用した複合産業(養殖・加工・再生エネルギー発電)の展開状況を調査

2. 日程 令和7年11月23日 ~ 11月24日

- ・ 視察場所 沖縄県 浦添市 国立劇場おきなわ
- ・ 生まれ島波照間の伝統行事「ムシャーマ」公演の取組み
- ・ 郷土芸能や地域文化の継承・発展に寄与するとともに、島の未来をみんなで考え、文化の大切さを伝える取組みの鑑賞

1. 【視察目的】

- 空き家対策、移住定住支援等の取組み調査を調査
 1. 先進事例や独自の取組みを調査し、自治体の政策立案や改善の基礎資料にしたい。
 2. 地域の実情にあった効果的な対策を効率的に導入し、空き家問題の早期解決と地域活性化に繋げたい。
- 波照間の空き家等の状況は、次々と解体され更地になっている。空き家を取り壊さずに活用できる取組みが必要。町営住宅の整備も進まない現状打開に、空き家を改修し居住不足対策、人口減少対策にも繋げたい。
- 海洋深層水の持続的な総合利用による産業振興への取組みの現地調査
離島特有の課題解決と持続可能な地域社会の構築を目的としている、この「久米島モデル」と呼ばれる複合利用システムは、エネルギー・水・食料の時給自足を目指す点で大きな意義を持ち、海洋深層水の低温性・清浄性・富栄養性の特性を活かし、多様な産業分野が発展している。年間数十億円規模の売上で島嶼地域の経済活性化に大きく貢献していて、産業振興と新たな雇用創出、水産・農業分野、製造・観光分野、経済効果などについて調査を行う。

久米島町 空き家対策の取組み

- ・ R元年度
- ・ 空き家等対策利用計画の策定において空き家実態調査を実施（推定空き家等155件）
- ・ R2年度
- ・ 空き家・空地バンクの立ち上げ
- ・ 町単独予算で空き家活用促進補助金(改修補助)を開始（補助金 1/2 限度額 50万円）
- ・ 島ぐらしコンシェルジュ(移住相談窓口)の一人は、不動産関係の実務経験豊富な人材を採用

- ・ 空き家利活用対策協議会を設置
- ・ R 3、4年度
- ・ 「空き家対策総合支援事業」の国庫補助申請に向けた国・県と協議
- ・ R4 空き家・空地活用相談員を設置、空き家ハンドブック作成
- ・ 活用相談員とともに各地域を回り、空き家の実態調査
 - 各集落の区長に空き家の実態を聞き取り調査 >> 新たに129件を確認 計248件
- ・ R 5、6年度
- ・ 国庫補助を活用し、空き家対策総合支援事業の実施(改修補助・除去(解体)補助)

① 空き家を放置していても、何にも良いことはありません。

相続や登記は、居住している時から、準備しておきましょう。(詳しくは、P21へ)

- ・ 空き家をただ持っているだけでも、維持管理費用がかかります。(固定資産税、庭木剪定や除草費用)
- ・ 一般的に空き家は、3年放置すると傷みが出てきます。(ボイラーや屋根等が壊れたりします。)
- ・ 時間が経つほど、状況は悪化していきます。(空き家は劣化し、空き家に関心がなくなります。)

利用するには傷んだ家の改修が必要。

「特定空き家」だけではなく、「管理不全空き家」に指定されると固定資産税の減税措置の対象外になります。

令和5年12月13日から、管理不全空き家の指定が行えるようになります。管理不全空き家に指定されると特定空き家と同様にP22の住宅用地の特例措置を受けることができなくなります。(土地の固定資産税の納税額が6倍(最大)になります)



● 久米島町空き家対策総合支援事業の実施

- ・ 条件を満たした空き家に対して、改修と除去(解体)にかかる費用の一部を補助
- ・ 補助額 改修 : 補助対象経費の2/3以内かつ最大100万円
除去 : 補助対象経費の4/5以内かつ最大80万円
- ・ 補助対象者 改修 : 空き家所有者、移住者、移住希望者、子育て世帯
除去 : 空き家の所有者または空き家の管理者
- ・ 補助金適用実績 (R7.6月現在)
 - 改修 R2=5件 R3=2件 R4=1件 R5=2件 R6=1件 (R2~4は町単独、5~6国庫)
 - 除去 R2=0件 R3=0件 R4=0件 R5=0件 R6=5件 (R2~4は町単独、5~6国庫)

● 空き家・空地バンクの設置

- ・ 空き家や空き地を「売りたい、貸したい」という所有者と、「買いたい、借りたい」という方を繋げる仕組み
- ・ 空き家・空地バンク実績(R7.5月現在)
 - 登録数 24件 ・ 成約数 19件 ※ 現在 空き地2件、空き家2件 掲載中
- 利用者は、Uターンなど移住を予定している方又は申請日の前日から3年前までに転入した方

● 今後の取り組み

1. 空き家利活用計画の改定
 - 計画が7年度までのため、空家特措法の改正や相続登記の義務化など制度変更に合わせて改定
2. 空き家等管理支援法人の展開
 - 市町村が、空き家の活用や管理に取り組む NPO 法人、社団法人等を「空き家等管理支援法人」に指定(町が指定する)。当該法人が所有者への相談対応や所有者と活用希望者のマッチングなどを

行うなど、空き家の管理や専門性の高い相談などを支援法人が担えるようにする事や先進地域の視察などを重ね検討していく。

● 移住定住支援

- 相談窓口が点在(たらい回し)により、移住者の受入れが不十分のため、平成 28 年 5 月から総合窓口として「**島ぐらしコンシェルジュ**」を開設し、地域おこし協力隊や集落支援員をあて活動を行う。
活動内容として

(1) 情報発信

△ **久米島移住専用ホームページ**

「島ぐらしガイド」として暮らし、住まい、仕事の情報を中心に発信。求人情報ページは島内外の両方が活用（求人件数:71 件）

移住希望会員のメルマガ希望者へ月 1 回程度配信（配信件数:656 件、R7.1/10）

△ **冊子**

「おきなわの離島 久米島移住ガイドブック 久米島でくらす」

移住イベントで配布、北海道、東京、名古屋、大阪の主要都市部の移住支援団体、沖縄アンテナショップ、島内外などに設置

「久米島 島ぐらしGUIDE 島ぐらしの便利帳」、主に転入者向け。島民も利用できる便利帳

△ **FMくめじま ラジオ番組**

島コンの活動報告や移住イベント情報、移住者の島ぐらしなどを月 2 回放送

移住者のゲスト出演持ちあり

島コンラジオ「久米島人口減っているってよ〜」 毎週第 1・3水、12:00~12:30

△ **定期記事**

- ・ 認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター 月1回 WEBマガジン「FURUSATO」
- ・ 大阪ふるさと暮らし情報センター 月1回 WEBマガジン「現地イベントへ行く」
- ・ 久米島観光協会 季刊誌「おかえり久米島」 ~島ぐらし通信~(年 3~4 回)
- ・ 久米島ファンクラブ 季刊誌「久米島ファンクラブ」 ~島コンたいむず(年 3~4 回)

(2) 移住相談

△ **移住相談**:メール、電話、オンライン、来館、移住イベントへの参加・開催情報を送付

相談件数:R2=249件、R3=257件、R4=299件、R5=395件、R6=302件

移住希望メルマガ会員登録数 : 1,234件 (R7,2.18現在)

△ **移住イベントへの参加・開催**

移住支援団体や沖縄県などが主催する移住相談会や移住フェアへ参加

また、年 1 回程度久米島町独自の出張移住相談会も開催

	R5 開催数	相談件数	R6開催数	相談件数
東京	7 回	83 件	10回	105件
大阪	3	41	2	24
名古屋	1	6	1	14
久米島	2	10	5	34
オンライン	3	15	5	166
合計	16	155	23	343

(3) 移住体験

△ **久米島オーダーメイド型移住体験サポート**

- ・ 移住希望者の希望に合わせたオーダーメイドの島内案内やお世話を

(学校や学童、職場、物件、生活施設を見たいなど)

令和4年7月よりスタートし、これまで29組41名が参加 ⇒ 9組12名が移住

△ 久米島オンライン移住体験ツアー

離島移住に不安を持っている方向けのオンライン移住体験ツアー

2025年2月に開催し、申込み23組、参加17組

△ 沖縄県ふるさとワーキングホリデー

沖縄県内の事業者と県外の参加希望者が雇用契約を結び一定期間(15~30日程度)仕事をしながら沖縄の自然や文化に触れ、交流や暮らしを体験

- ・ 宿泊費・島内の移動手段の補助あり 1日4千円補助
- ・ 参加事業者：久米島製糖、久米総合開発(車エビ養殖場、レンタカー)

△ 観光人材マッチング支援事業「職場見学バスツアー」他

沖縄県内の観光業界へ就職を希望する方を対象に、求人情報とのマッチングを行い、職場訓練及び職場見学を実施

- ・ 渡航費・宿泊費の助成あり。観光目的でない事の確認

R6.11月 2泊3日 6名参加し2名移住予定

(4) 仲原家の管理・運営

△ コワーキングスペース

久米島町内には、Wi-Fi環境の整ったカフェやコワーキングスペースがあり、中長期滞在中やテレワークの仕事場として活用される。仲原家は、その一つで琉球古民家をリノベーションし、島ぐらしコンシェルジュ事務所としても活用。

△ 運営

コワーキングスペースの運営 (島民:100円/時間、島外200円 貸切利用あり)

ランチスペース開放 (毎週金、土 11時~13時)

茶話会 「みーしまんちゅの会・イベント」の開催 (毎週第2土曜 14時~16時)

活動実績：年間相談件数は近年300名以上。

移住者数：島ぐらしコンシェルジュが関わった移住検討者のうち、年間約30名が移住

(5) まとめ

島ぐらしコンシェルジュが関わった9年間で253名が移住

転出した人数46名、定住率81.8%(R7.1月現在)

主な移住理由：自然が豊か、久米島が好き、発展しすぎていなく、不便過ぎないところ、のびのびした環境で子育てしたい など

主な転出理由：新しい事にチャレンジしたい、家族が増えたが給与が少ない、教育・習い事の選択肢が少ない、島の病院では治療が難しい、人間関係 など

● 移住・定住の課題

・住まい不足

1) 移住希望者数に対して住まい不測の解消。。。空き家や古いアパートの活用

2) ペット可の物件相談や二拠点居住検討者の増加への対応。。。移住促進住宅の要検討

・人手不足

1) 若い移住者・現役世代の誘致 2) 給与面・待遇面の不安解消など

・3~5年の壁(転出)

1) 現役世代、子育て世代の転出の抑制。。。正しい転出理由の調査、対応策の検討

・Uターン、孫ターンの強化

● 来年度やりたいこと

○ 「地域」と繋がりたい

- 1) 区長会に参加 2) 字の訪問 3) 地域の住まい、移住者に関するヒヤリング
⇒ 住まい・転出対策へ繋げる

○ 「地域」の魅力をもっと発信したい

- 1) 他地域・他業種と交流し久米島の魅力を再認識し発信する。
(県外離島との合同オンライン移住セミナー等)
⇒ 人手不足・Uターン対策へ繋げる

○ 「地域」と繋がる移住ツアー企画をしたい

- 1) 地域行事参加型移住体験ツアー(ハーリー、スージン、祭り等の準備、模合、ビーチクリーンなど) ⇒ 人手不足対策(若者の誘致)へ繋げる

● 受入れ対策の取組み (定住促進住宅整備事業)

1. 事業概要

県外から移住してくる教育・福祉関係従事者を受入れるための住宅を整備

事業期間 R6 ~ R8 年度 総事業費 382百万円 (国費 305百万円)

沖縄離島活性化推進事業で実施 集合住宅 1棟2階 14戸程度 1K 入居期間最大5年

定住促進と教育・福祉関係従事者の人材確保双方に効果が見込まれる入居条件等を設定する

2. 事業の意目的・効果

目的 移住定住者の誘致による教育・福祉分野の担い手確保並びに転入者の増加

成果目標 定住促進住宅に入居する教育・福祉関係従事者数 : 14人(R9年度)

対象者: 給食センター調理員(高齢者向けの配食サービス)、介護士

空き家対策と連動して

● 納骨堂を整備

墓地の散在抑制のための納骨堂機能と、空き家を有効活用するため
空き家から位牌等を預かる機能を持った複合施設の整備。

・ 利用可能施設

納骨壇 : 合葬室に共同収蔵される前に使用許可を受けた日から
12年(13回忌)又は32年間(33回忌)納骨壇に収蔵される施設
使用期間が経過すると町によって合葬室へ共同収蔵される。

利用料 1体用 : 144基、(12年=82000円、32年=17万円)

2体用 : 64基、(12年=142000円、32年=28万円)

※ 収蔵できる骨壺の規格有、1体用・2体用 共通 幅23cm以下、
奥行き31cm以下、高さ38cm以下

・ 短期収蔵納骨壇 : 1回の使用期間5年間で焼骨を預かる施設。1回に限り更新ができ、
使用期間が過ぎると焼骨を所有者へ返還する。

利用料 5年間 1体用 : 3万円 2体用 : 47000円

合葬室 : 複数の焼骨を共同で収蔵する施設。骨壺で預かりした焼骨を布袋等に移し、
合葬室に永代にわたり町が管理する。生前(65歳以上)に、自己の焼骨の収蔵
を目的として申し込むことができる。合葬室 650体(骨袋で保管)

利用料 焼骨を所持している場合 : 3万円 生前予約 3万円



- ・ **位牌壇** : 1回の使用期間 3 年間で位牌を預かる施設。使用期間が経過すると位牌を所有者に返還する。 30基可能
 利用料 位牌壇 42000円
- ・ **参拝室** : 納骨や年忌法要などのために香炉や花瓶等を備えた施設。有料で個別に使用できる。
 1時間 : 1000円

活動のまとめと感想

- 空き家の活用促進(賃貸、シェアオフィス、店舗、宿泊施設など)は、移住定住の促進や関係人口の増加、ひいては地域経済の活性化に直結する。
- 成功事例を参考にすることで、時間的・財政的コストを抑え、効果的な施策を迅速に導入できる事が期待でき、失敗事例や課題も学ぶことで、自治体の空き家対策をより現実的かつ効果的に推進するための重要なプロセスを学び、町行政への提言ができるようにしたい。
- 私も仏壇が残る家に入居し、毎朝のお茶お供えをお願いされたことがあり、竹富町にも望まれる施設ではないかと思う

海洋深層水の持続的な総合利用による産業振興への取組み

1. 産業振興と新たな雇用創出

- ◎ 久米島では、海洋深層水の低温性・清浄性・富栄養性といった特性を活かし、多様な産業分野が発展している。

2. 水産・農業分野

- ◎ 夏場の海水温上昇の影響を受けやすい養殖業(車エビ、海ぶどう、モズク、カキなど)において、低音の深層水をブレンドすることで最適な水温を維持し、安定生産を実現している。深層水の水温は執念 9℃ で安定、太陽光の届かない深度では植物プランクトンは光合成が出来ず、有機物の分解だけが進むため栄養塩濃度は高くなる。

3. 製造・観光分野

- ◎ 海洋深層水は、ウイルス・細菌・有機物、汚染物質が表層水と比べて1/10 から 1/1000 と少なく、水産物の洗浄やミネラル分を活かした化粧品や食品・飲料水などの特産品開発、温浴施設など観光資源としての活用も進んでいる。

4. 経済効果

- ◎ これらの取組みにより、年間数十億円規模の売上と新たな雇用を生み出し、島嶼地域の経済活性化に大きく貢献している。

● 海洋深層水を活用した複合的産業振興への取組み

沖縄県海洋深層水研究所は、海洋深層水の持続的な総合利用推進を図り、沖縄県の産業振興に寄与する事を目的として、水産分野をはじめとする海洋深層水の利活用に関する研究をしている。また、研究開発された技術を生産者や企業に移転し、新商品及び新技術の開発や新分野への進出を促し新たな産業の創出を目指している。

・ 海洋深層水の特徴と年間取水量

海岸からの距離2.3km、水深612mの地点から海洋深層水を取水しており、最大日量取水量13,000トンで、全国に15か所ある海洋深層水取水施設の中で最大の取水量。

研究所で取水している海洋深層水や表層水は研究に使うだけでなく、企業に有償で譲渡しており、H25年度には海洋温度差発電の実証実験を開始し、R5年度は深層水を169万トン、表層水を

約 319 万トン取水し、このうち深層水約 46 万トン、表層水約 151 万トンを企業に譲渡した。

● 「久米島モデル」の実現に向けて

○ 海洋温度差発電実証設備

海洋再生可能エネルギーの一つで、世界に先駆けて久米島で、2013 年から発電実証開始。2014 年には海洋エネルギーとして、日本初の系統連携、長期無人自動運転に成功。2022 年度からは、商船三井、佐賀大学、久米島町で連携し発電実証を行っている。612mの深層水と表層水の温度差(20℃前後)を利用し、作動流体して沸点の低い媒体(R134a 等)を用いてタービン発電機を回し、発電するシステム。

○ 久米島モデルへの展開

久米島では、発電に利用した後の海洋深層水の二次利用を推進。深層水の 3 つの特徴を生かし水産養殖、農業、工業、空調等への利用による産業発展へ取り組んでいる。

○ 久米島における深層水産業利用の現状

深層水関連企業 20 社の深層水関連製品の生産額は、平成 27 年度時点で年間約 25 億円。新規雇用者数は 140 名(関連企業雇用者全体で 300 名)で、久米島における一大産業となっている。

○ 加速する深層水需要と主要プロジェクト

1. サングの育苗 2. 牡蠣の陸上養殖技術開発(民間) 3. 海ブドウ養殖(民間) 4. 冷熱利用農業
5. 藻類培養実証実験(民間) 6. トラウトサーモン海水馴到養殖(東海大学・民間)
7. トサカノリ養殖研究 8. 車エビ稚エビ養殖+成エビへの深層水利用(計画中) 9. 温度差を利用した海水淡水化実験(佐賀大学)

【今後の取り組み】

● 1 日当たりの取水量を現在の 1 万3千トンから規模拡大を図った時に 18万トンで経済効果として 80 億円になると推計されている。海洋深層水は魅力のある仕事の創出と感じている。

● 「エネルギー・水・食糧」の自給自足で。持続可能な島嶼コミュニティを創る。

● 久米島エネルギービジョン目標について

- ・ 2040 年までに、島内で消費されるエネルギーの100%を再生可能エネルギーによって自給する。
- ・ 太陽光発電の普及支援 ・ 電気自動車(EV)、充電電 1/2 器(V2H)等の普及支援
- ・ 久米島町電気自動車等導入補助金(経済産業省と久米島町の助成金を併用する事でお得に購入できる。普通車:国 最大 85 万円、町 10 万円、充電電器:国 対象機器の 1/2 町 10 万円)
- ・ ふるさと納税を活用

◎ 久米島モデルの核心は、海洋深層水という地域資源を余すことなく「多段階利用」する点にある。一つの用途で利用した後の排水を次の用途に回すことで、資源を効率的に循環させ、経済性と緩急配慮を両立させている。これはゆいまーる(沖縄の相互扶助の精神)な利用方法とも表現されている。単なる特定の産業振興ではなく、持続可能な未来を見据えた地域循環共生圏(ローカル SDGs)の先進的なモデルケースとして貢献している。

活動のまとめと感想

海洋深層水の特徴として、複数の産業分野で段階的に利用することで、資源を無駄なく使い切り、環境負荷を最小限に抑えつつ地域経済効果を最大限できることから、竹富町内では、立地条件として推進200m以深の深層水が沖合数kmで取水できる。外洋に面した地形は波照間島も立地条件に近い環境にあると思うので、海洋深層水の施設整備の検討を考えて頂きたい。

久米島における深層水産業利用の現状

沖縄県海洋深層水研究所(2000～)

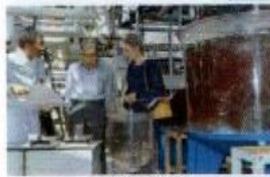
技術移転

深層海水利用企業

水産業・農業を対象とした
沖縄県所属の研究施設



冷熱利用農業研究



水産研究



深層海水 取水能力：13,000m³/日
表層海水 取水能力：13,000m³/日



海ぶどう



車えび種苗

深層海水関連企業20社の深層水関連製品の生産額は年間約25億円。
新規雇用者数は140名（関連企業雇用者全体で300名）で、
久米島における一大産業となっています。

加速する深層水需要と主要プロジェクト

沖縄県海洋深層水研究所
サングの育苗(2015年5月～)



開発 → 実証 → 商用
沖ノ島島・恩納村・久米島の
サング育苗の育成研究開始
車えび 成えびへの深層水利用
(計画中)



商用 → 拡張

現在は、深層水利用可能量の制限から、海洋深層水をほぼ育苗のみ
に利用している(成えびは実験的に
少量育成)。深層水を成えびに大規
模適用し、車通の暑い時期に高付
加価値の工品を出荷する。

佐賀大学 温度差を
利用した海水淡水化実験
(2014年10月～)



実証 → デモ

省エネ・低メンテナンスの海水
化技術水 不足に切り替わり
へのモデル設備として大型化

「完全自動化」社員の陸上
養殖技術開発(民間)
(2013年春～)



開発 → 実証 → 商用
オイスターバー最大手の民間企業
が研究所を開発。食中用フリーの
社構上策地を目指す。

海ブドウ養殖場(民間)
規模を1.5倍に拡張
(2013年初頭稼働開始)



商用 → 拡張
海ブドウは、市場規模が拡大中。
深層水が確保できれば今後右
拡張が計画されている。

久米島町 冷熱利用農業10
アール適用ハウス
(2014年10月竣工)



商用 → 拡張
研究所からの技術移転で商用化し
た。ハウスの拡張(生産量と全産
品種の増大)

久米島町・民間
養殖投資実証試験
(2021年3月～)



開発 → 実証 → 商用
大手製薬企業が実証試験を設備。
微細藻類を用いた新事業の創出を
目指す。

東京海洋大学・民間企業・
沖縄県海洋深層水研究所共同
トラウトサーモン海水馴致
養殖(2020年4月～)



開発 → 実証 → 商用
持続可能な水産資源利用と、沖
縄島の新たな食料源の確立を
目指す

取水量が律速→取水管の大規模化が急務!

内閣官房 総合海洋政策本部
海洋エネルギー実証フェーズ
への選定(2014年7月)

点線内の沿岸域および海域が、沖縄
県提案により海洋再生可能エネル
ギー実証フェーズの1つに選定された。
全国7か所の選定エリアのうち、海
洋温度差発電用の実証フェーズは久米
島のみである。

沖縄県 海洋温度差発電
実証試験設備 試験試験
(2013年4月～)

沖縄県海洋深層水研究所
(2000年4月～)



実証 → 開発 → 商用
日本電 の実証運転設備(100kW
級)。SATRIPS (IICA-MEXT) に
よるメッシュ/工科大研受入れも
(2019年11月)



実証 → 開発
設立の研究所。目前での水産技術
研究開発の良か、産学官連携の関
係・実証にも力を入れている。



海洋深層水による水温調整、お
よび富栄養性発生を防止して、通年
で安定的に供給。



鹿児島においては輸送コスト面の
不利から高単価の海藻を選択「
トサカノ」「オゴノ」養殖研究

2.【視察目的】

- ・ 生まれ島波照間のムシャーマ公演の取組みを調査
- ・ 郷土芸能や地域文化の継承・発展に寄与するとともに、島の未来をみんなで考え、文化の大切さを伝える取組みの鑑賞

活動のまとめと感想

伝統文化の保存・継承の促進、文化的価値の再認識、国内外への発信は大きな意義を感じる。長く継承され続ける行事が、「国立劇場」という国の象徴的な舞台上演されることは、その芸能の芸術性・歴史・地域性が公に認められ、地域住民の誇りと愛着心を高める事に繋がり、また今後の伝統文化の継承に対する意識の向上に直結すると考える。

国立劇場での公演は、上映記録の調査・収集・デジタル記録保存が行われ、後継者育成のための調査研究や資料収集も推進され、地元以外の観客や観光客など、多様な人々が伝統行事に触れる機会を提供することで、これまで島外であまり知られていなかった認知度と理解度を高めることができたと思う。

公演の準備や実施には、波照間からの約70人に加え、島外の島出身者や郷友会からも約70人、合わせて約140人が出演し、地域のコミュニティの連携強化や活性化にも繋がっている。

国立劇場での公演は、上映の場だけにとどまらず、波照間島の伝統文化が未来へ継承されていくための重要な機会となったと確信する。

波照間島の最大行事であるムシャーマは、我が島の伝統芸能だと強い誇りを持っているが、人口減少や高齢化と共にその継承が危惧されている。しかし、若い世代が伝統芸能の担い手として認識を持ち、今回の国立劇場おきなわ公演の経験が大きな自信になり、伝統文化を守り育てる機運が高まることを期待し、今後の活動を応援していきたい。